

令和3年度 環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業 キックオフミーティング 発表資料

本事業における区分

今年度より“環境整備“に取り組む	
昨年度から引き続き“環境整備“に取り組む	
昨年度までの“環境整備“を経て、今年度より事業化に取り組む	<input checked="" type="checkbox"/>
昨年度までの“環境整備“と“支援チーム派遣(事業化支援)”を受けて引き続き事業化に取り組む	

活動団体名：公益財団法人東近江三方よし基金

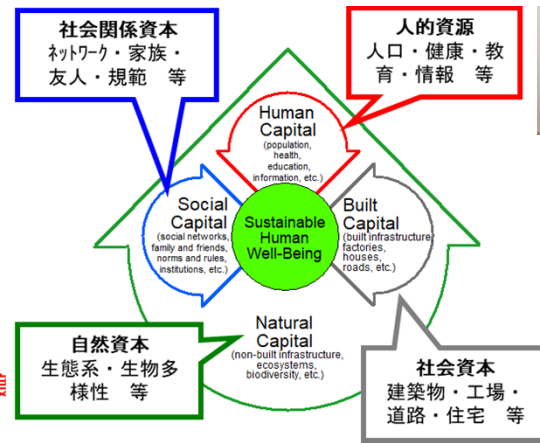
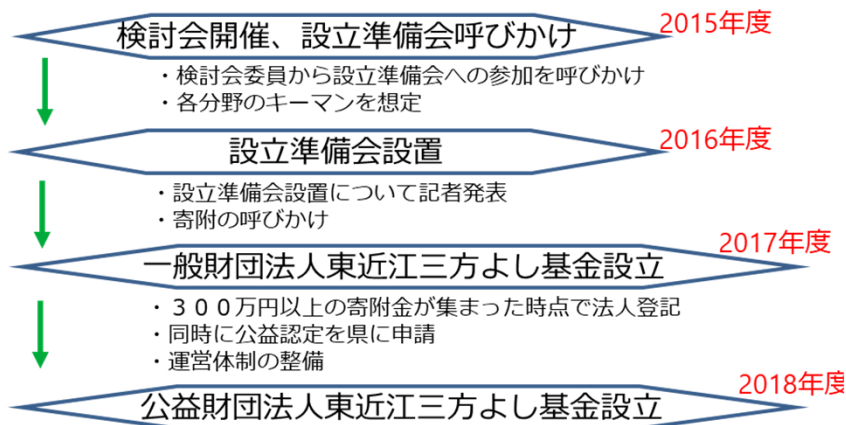
活動地域：滋賀県東近江市

活動におけるテーマ・キャッチコピー

～人と自然・人と人のつながりの先に～

活動団体紹介

- ✓ 東近江三方よし基金は市域の「コミュニティ財団」
- ✓ 持続可能な東近江市を実現するため「資金循環の仕組み(ローカルファイナンス)を実装」
- ✓ 社会的事業の成果(社会的インパクト)の見える化により「資本」を充実



Point① 地域資源を活用して魅力向上

- ・歴史文化遺産の磨き上げ
- ・地域の人財の磨き上げ
- ・インフラの有効活用

Point② 地域資源を再評価し保全・再生

- ・森林、河川の保全・再生
- ・生活弱者対応と地域共生の仕組みづくり

Point③ ソーシャルキャピタルの醸成

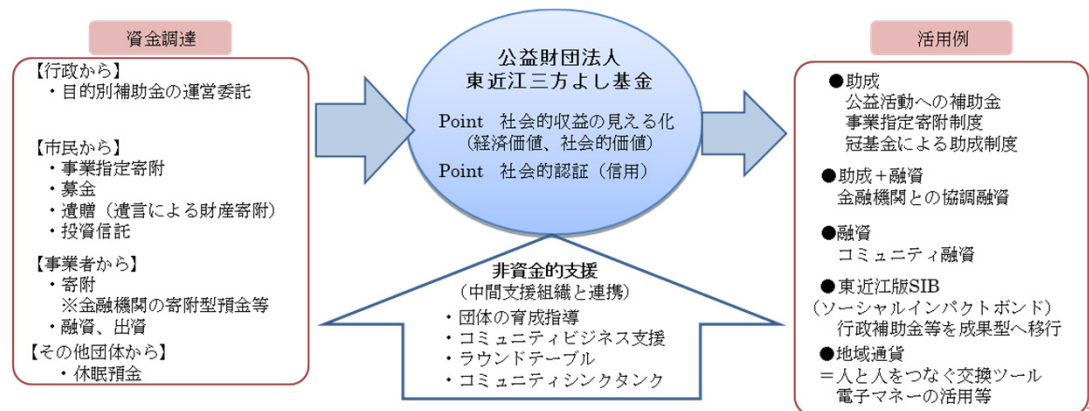
- ・市民意識変化による社会変革
- ・セーフティネットの構築

自然環境をベースにそれらを保全し活用する取組
 人と人・人と自然をつなぐ取組

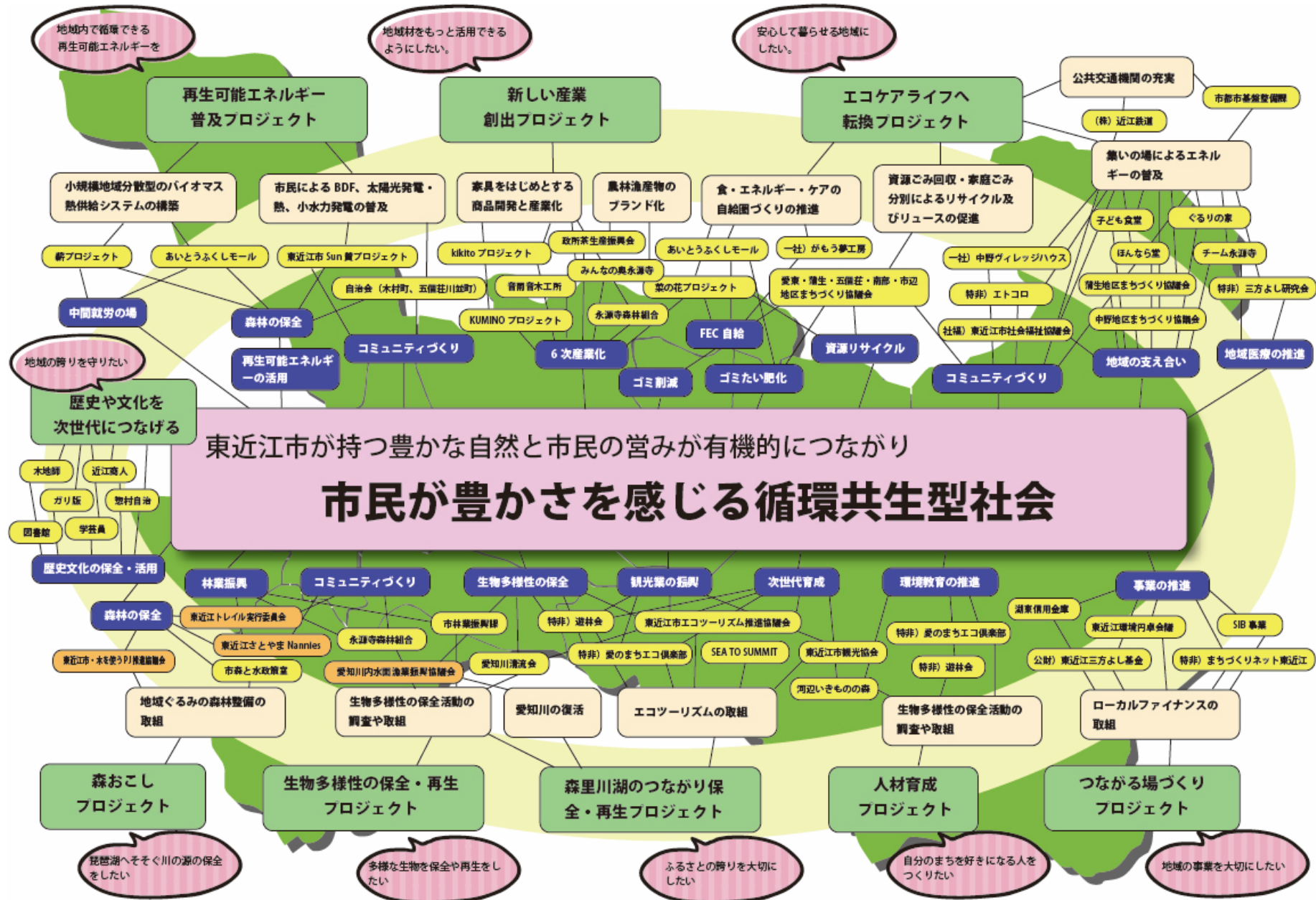


東近江三方よし基金

<https://3poyoshi.com/>



現時点での地域版マンダラ



地域プラットフォームの現状

Environment & Social (人と自然、人と人のつながりの継承)

東近江三方よし基金では、環境(CO2、生物多様性)、経済(地域経済貢献度)、社会(人と自然・人と人のつながり時間)の視点で、分野を超えてつながるプロジェクトを支援

東近江市版SIB

Laque
 マスカットベリーAを中心としたワイン用のぶどうの栽培や醸造技術の習得を行い、東近江市産ぶどう100%のワインを自家醸造・販売できる体制を構築することを旨とする。



東近江市版SIB

MURASAKI no ORGANIC
 万葉の時代から滋賀県東近江地域にある「紫草(ムラサキ)」を使ったオーガニックのスキンケアコスメ「MURASAKI no ORGANIC」を商品化。耕作放棄地の解消と山間部の雇用創出を目指す。



東近江市版SIB

政所茶生産振興
 室町時代から続く有機栽培・手摘みの政所茶の継承を実現するため、付加価値の高い販路開拓、山村の丁寧な暮らし体験ツアー等を実施する。



社会的投資

市民共同発電所
 市民出資で太陽光発電を設置し、その売電益は地域商品券で還元し、地域でお金を回す仕組みにつなげる。その一部を公益活動への寄附にあてる団体もある。



東近江市版SIB

がもう夢工房
 空き店舗を改修して、地域の拠り所としてコガモカフェをオープン。着地型観光や人材バンク、子ども食堂など、地域の拠点として活用。定期的にマルシェを開催し、地元野菜や果物を販売。



東近江市における社会的投資推進に関する協定締結(2018.11.16)

湖東信用金庫 (地域金融機関)
 ・地域の社会的投資商品の紹介
 ・東近江三方よし基金の理念に貢献する起業・創業提携融資を検討

公益財団法人 東近江三方よし基金 (基本財産は772名の志民寄附)
 H29.6.12設立→H30.7.2公益認定
東近江市版SIB事業
 (地域の社会的投資による成果運動補助金)
自然環境を生かした新・近江商人応援事業
 (寄附を活用した起業・創業支援助成) etc

プラスソーシャルインベストメント株式会社 (第二種金融商品取引業者)
 ・社会的投資の案件組成
 ・社会的投資のためのプラットフォーム設置・運営

・普及啓発

東近江市・事業者募集及び交付金支払・評価委員会に参加

東近江市版SIB

薪プロジェクト
 獣害を防止するため雑木林を伐採し更新するため、雑木を薪として販売し、エネルギーとして利用する仕組み。薪割作業を地域の働きづらさを抱える若者らの中間的就労の場となる。



社会的事業への資金調達支援に関する協働協定書(2017.6.20)

Local Governance (共に考え、共に創る 地域自治の継承) 中間支援組織: NPO法人まちづくりネット東近江との連携

東近江三方よし基金では、市、中間支援組織と連携して多様化する地域の課題を発見・共有し、共通価値を創出する自治のあり方を継承

- ✓ 地域自治の基本となる課題発見能力と共感力(小さな夢やsosを見落とさない関係性の構築)
- ✓ 気づきから行動、そして仲間づくりへのサポート
- ✓ 一粒で二度も三度も美味しい、をベースにした地域「総働」の実現

【NPO法人まちづくりネット東近江】
 Vision: 誰もがまちの創り人(つくりて)となる社会を目指して
 Mission: 思いを形にしたい人達のあゆみに寄り添う

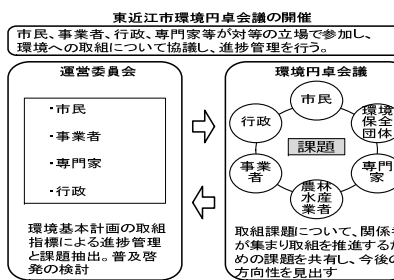
新たな課題

コレクティブインパクト事業
 利害関係者が多く、複雑な課題について取り上げ、課題の共有から協働プロジェクトの創出、課題の解決に導くためのチャレンジ。ラウンドテーブル運営委員会と連携する。
 実績: ①イヌワシの棲む森づくりプロジェクト 等



プラットフォーム

東近江市環境円卓会議
 環境・経済・社会の視点で、分野を超えてつながるプロジェクトを普及すると共に、環境基本計画の進捗管理も担う。新たな地域課題を深め共有する場を設定する環境円卓会議を運営する。



人材育成

地域ブランディングの本質
 東近江市で暮らし続ける地域ブランディングを実現するため、市民が主体的にまちに関わろうという前向きな気持ちを育む人材育成について行政、市民、企業、教育機関等が議論し具体策を検討する。



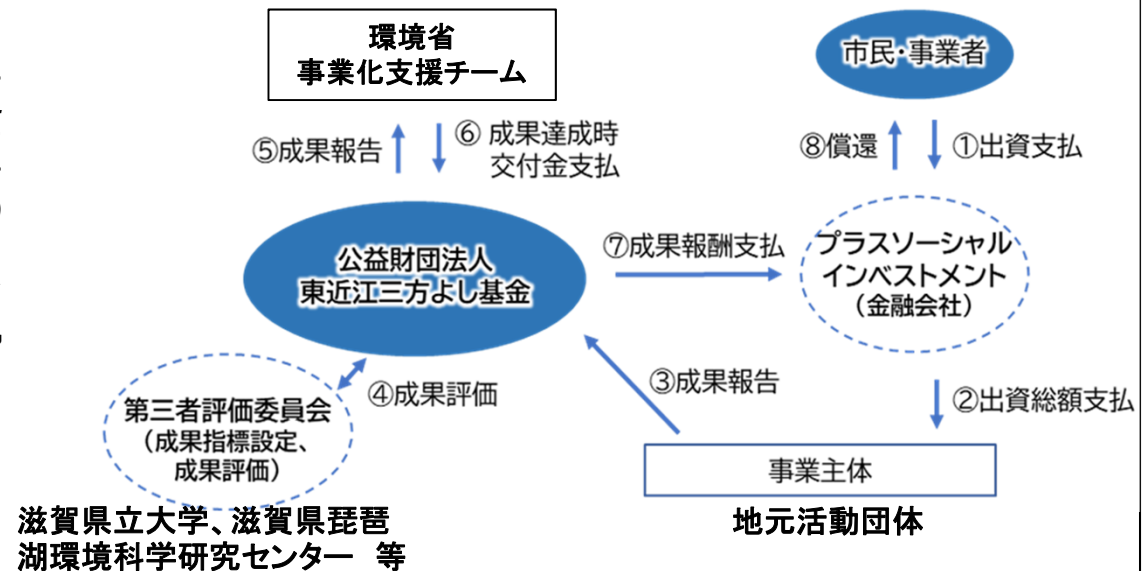
どんな“ローカルSDGs事業”を生み出したいか

ありたい地域の未来

小さな自然再生と絶滅危惧種の川ガキの復活！

ありたい地域の未来を達成するための“ローカルSDGs事業”は何か

東近江市版SIBの仕組みを、小さな自然再生（河床耕耘や魚道整備等）に活用するための実証事業を行う。地域住民や企業の出資により、当事者意識や防災意識の向上に貢献し、自然に親しむ意識の醸成につながることを実証調査する。



今年度取組もうとしている事

- ・ 愛知川流域における市民による小さな自然再生の取組
- ・ 東近江市版SIBの仕組みを利用して、民間資金調達をツールに地域のつながりを強化
- ・ 自然再生が地域にもたらす様々な効果（人と人、人と自然のつながりの豊かさ）の見える化

年間スケジュール（参考資料）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定			◆キックオフミーティング ↔ 協定締結（活動予算執行開始						◆中間報告会 ◆中間報告書提出期限		◆活動団体成果報告書提出	◆成果報告会
ローカルSDGs事業に向けた取組 〈全体会〉			◆関係者MT①		◆関係者MT②		◆関係者MT③		◆関係者MT④		◆関係者MT⑤	
小さな自然再生			◆活動団体決定				← 自然再生活動 →					
資金調達							← 民間資金募集 → ◆資金提供					◆償還
成果評価			← 成果目標設定 →			← 成果調査分析 →					← 成果評価 →	